

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 7 月 11 日 (2013.7.11)

【公表番号】特表 2012-533892 (P2012-533892A)
 【公表日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-055
 【出願番号】特願 2012-520917 (P2012-520917)
 【国際特許分類】

H 0 1 L 31/042 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 L 31/04 R

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 5 月 27 日 (2013.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

太陽を追尾するための少なくとも 1 つの太陽光発電モジュール (4) を有する太陽光発電システムのための追尾装置であって、いずれの場合においても 1 つの太陽光発電モジュール (4) のための支持架台 (2) を含み、前記支持架台 (2) は、

前記太陽光発電モジュール (4) を支持し、実質的に垂直軸 (6) を中心として回転可能な状態で取り付けられる支持構造 (16) を有し、駆動部 (10) により垂直追尾を行う垂直追尾装置と、

水平軸 (8) を中心とする回転により、前記太陽光発電モジュール (4) の水平追尾を行う水平追尾装置と、を含み、前記水平追尾装置は、

様々な高さレベルを有するガイドトラック (24) を画定する上昇要素 (22) であって、前記支持構造 (16) は、前記上昇要素 (22) に対して、前記垂直軸 (6) を中心として回転可能である、上昇要素と、

前記垂直軸 (6) を中心として前記支持構造 (16) が回転運動する場合には、連結要素 (28) と共にガイドトラック (24) に沿って移動し、前記水平軸 (8) を中心とする回転運動を生成するために、前記ガイドトラック (24) によって画定される前記高さレベルを伝達する、機械的連結装置 (28, 30) と、

前記支持架台 (16) と同心に配置され、それに回転可能に固定された状態で連結され、駆動手段 (12) により共通の駆動部 (10) の作動動作を伝達するために設けられる駆動要素 (20) であって、前記駆動要素 (20) には、動作時、前記駆動手段 (12) が巻き付き、複数の支持架台 (2) が後者により駆動される、駆動要素 (20) と、を含み、

前記支持構造 (16) の部分領域 (36A, 36B) の、互いに対する、前記垂直軸 (16) を中心とする前記回転調節のために、調節装置 (36A, 36B, 38) が設けられることを特徴とする、追尾装置。